



## 喜多の楚

### 歯神社例祭のご案内

来月、六月四日は当神社の飛地（とびち）末社である歯神社の例祭日です。この歯神社は小さな祠（ほこら）のお社で、繁華街の中心、角田町において唯一戦前から残る建物として、梅田の地に今も御鎮座されておられます。

御由緒は江戸時代に、淀川の氾濫があった時に遡り、この歯神社の御神体である巨石がその洪水の流れを歯止めし、水没から梅田の街を守ったことから歯止めの神様として慕われた事に由来します。後世、音韻が通じるのを以って「歯痛止めの神様」とも慕われ、更に時代が下がるにつれ、歯のご利益あらたかなるを遠近に知られるようになり、また大阪が歯ブラシ生産量日本一の地という事もあり、現在では「歯の大神さま」として、全国の歯に関わる方々から崇敬されています。

当日は午前十一時より歯神社前にて神事があり、終了後（十一時二十分頃）に歯ブラシの授与がございます。尚、歯ブラシの授与数は先着百名さま迄とさせていただきます。皆様のお参りをお待ち申し上げます。

名称 歯神社例祭（通称 歯ブラシ感謝祭）  
日時 平成廿六年六月四日（水）午前十一時  
場所 大阪市北区角田町二番八号 歯神社

（ユニクロ梅田店 入口横）  
備考 歯ブラシ授与は先着百名迄。  
お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

〇六一六三七一一五八六

協賛 全日本ブラシ工業協同組合

株式会社 サンギ

### 玉姫稻荷神社例祭

毎年五月五日は、梅田の女性の守り神さまとして慕われる、茶屋町の当宮御旅社の境内末社「玉姫稻荷神社」の例祭日です。

何分にも世間では連休中という事もあり、例年神職のみで奉仕いたしておりますが、右記に述べる「梅田の牛の藪入り」との関連も考えられる神事です。ご参列は自由です。

（例年神事のみで催し等はございません）

日時 平成廿六年五月五日（月）午前十一時  
場所 大阪市北区茶屋町十二番五号  
網敷天神社御旅社内

### 牛丸町と牛の藪入り

先月二十六日に開業から一周年を迎えたグランフロント大阪ですが、この地の大半は昔は牛丸町という町名でした。この町名の由来は、実はこのあたりが毎年五月五日に行われる牛の放牧場であった事に由来します。

これを「梅田の牛の藪入り」といい、花々に飾られた近在農家の牛が、この日だけは曳網を解き、自由気ままにさせてあげ、一年間の働き労るというもので、喜んだ牛が駆けまわった事から「牛駆け」とも呼ばれた梅田の名物行事でした。

しかし、近代以降、梅田の市街化に伴い、牛農家自体が無くなり、この行事は途絶えましたが、当宮御旅社末社の玉姫稻荷神社の例祭は、同じく五月五日であり、またかつては境内の神牛像に紅白の晒布で角飾りをしたという古伝もあり、藪入りと何らかの関わりがあった可能性が極めて高く、近年、近在のお花屋さんのご協力を得て、牛の藪入りの故事に倣い、五月五日には境内の神牛像へ花飾りを付けて頂いております。

牛丸と呼ばれた町は、昨年最先端の街へと変化しましたが、藪入りの故事の名残は今も当宮でひっそりと残っております。

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、  
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀 知

